

名張市教育委員会事務の点検・評価報告書

平成27年 3月

名張市教育委員会

1 事務の点検・評価

教育委員会では、平成 20 年度より、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、「名張市教育委員会事務の点検・評価報告書」を作成しています。

事務の点検・評価は、平成 24 年度までは市が設置した名張市考査委員会が意見を付した事務事業について、改めて教育委員会で点検・評価を実施し、報告書を作成していましたが、名張市考査委員会が休止となったことから、昨年度の点検・評価報告書からは、市が実施する施策評価管理シートを活用し作成しております。

このことから、平成 24 年度までの点検・評価対象は、個別具体の事務事業を対象としておりましたが、昨年度より、個別具体の事務事業を含めた施策段階での点検・評価としております。

2 平成 26 年度（平成 25 年度実績）施策評価結果

総合評価は、「A 施策達成に向けた取組や今後の施策展開などが大変評価できる」、「B 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている」、「C 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われているものの、いくつかの課題、改善の余地が見受けられる」、「D 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が不十分であり、改善の余地を多く残している」の 4 段階で評価され、C 評価及び D 評価の施策に対しては、行政評価委員会の意見が付されます。

教育委員会は、「学校教育」、「青少年健全育成」、「生涯学習」、「生涯スポーツ」、「市民文化」、「文化資源」、「文化交流」の 7 つの施策があり、平成 26 年度施策評価においては、昨年度と同様の B 評価が 4 施策、C 評価が 3 施策という結果となりました。

注) 進捗率は、施策指標（目標値）に対し、当該年度（実績値）が市総合計画の基本計画策定時（現状値）からどれだけ伸びているか（減っているか）指標の進み具合を下記計算式により数値化したものです。

$$\text{(計算式)} \quad \frac{\text{実績値 (2013 (平成 25) 年度)} - \text{現状値 (2008 (平成 20) 年度)}}{\text{目標値 (2015 (平成 27) 年度)} - \text{現状値 (2008 (平成 20) 年度)}} \times 100$$

平成 26 年度 教育委員会事務の点検項目

	ページ
< 施策 1 > 学校教育	1
< 施策 2 > 青少年健全育成	6
< 施策 3 > 生涯学習	8
< 施策 4 > 生涯スポーツ	11
< 施策 5 > 市民文化	13
< 施策 6 > 文化資源	15
< 施策 7 > 文化交流	17

< 施策 1 >

政 策 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
 基本施策 生きる力をはぐくむ教育の充実
 施 策 学校教育

【基本方針】

- ・教育内容の充実を図るとともに、安全で快適な教育環境を整備します。
- ・時代の変化に対応して国際理解教育、情報教育等の充実と、特色ある教育活動や学校運営を進め、魅力ある学校づくりに取り組みます。
- ・家庭、地域、学校が連携して、地域ぐるみで子どもの可能性を伸ばし豊かな人間性を育む教育など、地域に開かれた学校づくりを進めます。
- ・学校の校区編制、規模の適正化や適正配置を推進します。
- ・障害のある児童生徒の能力や可能性を最大限に伸ばす教育を推進します。



【施策指標（目標）及び達成状況】

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H20)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2015 (H27)	進捗率
小・中学校の教育環境に満足している市民の割合（％）	目標	—	—	—	62.0	—	65.0	28%
	成果	59.2	59.6	60.2	59.4	60.8		
学校に満足している児童生徒の割合（％）	目標	—	—	—	90.0	—	92.0	36%
	成果	88.1	89.5	89.6	89.5	89.5		
不登校児童生徒の割合（％）	目標	—	—	—	1.4	—	1.1	100%
	成果	1.5	1.0	0.9	1.0	1.1		
支援の結果、登校できるようになった児童、生徒の割合（％）	目標	—	—	—	23.0	—	26.0	100%
	成果	15.0	14.3	33.3	10.4	35.7		
特別支援教育にかかる個別の指導計画を作成している児童生徒の割合（％）	目標	—	—	—	30.0	—	50.0	100%
	成果	27.0	97.7	99.4	100.0	99.0		

【施策達成のための教育委員会事務事業】

No	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
1	「総合的な学習」推進事業	学校教育室	地域の特色を生かし聞取り学習、体験学習等を行う。	継続 (現行)
2	ふるさと学習充実事業	学校教育室	社会科副読本「わたしたちの名張市」を活用し、郷土の自然や文化、歴史に親しみ、郷土を愛する子どもを育む。	継続 (現行)
3	外国語活動実践研究事業	学校教育室	教材の配付、授業実践研究等により、小学校外国語活動の充実を図る。	継続 (現行)
4	学校支援ボランティア推進事業	教育センター	学校生活支援ボランティアの知識、経験や技能を生かし、学校教育の充実を図る。	継続 (拡大)
5	学校図書館教育充実事業	教育センター	モデル校を指定し、児童生徒への読み聞かせや学校図書整備、学校図書館の環境整備等の活動を行う。	継続 (拡大)
6	学校図書館運営支援員配置事業（緊急雇用創出事業：教育総務室）	教育総務室	図書データの入力や児童への読み聞かせなど学校図書館の活発な運営支援を図る。	H25 完了
7	学校保健事業	学務管理室	学校における児童生徒の健康の保持増進を図ることに より、学校教育の円滑な実施を図る。	継続 (現行)
8	基礎学力向上支援事業	学校教育室	標準学力調査を実施し、学力保障を図るとともに、新体力テストを実施し、体力向上の取組を進める。	継続 (現行)
9	生徒指導充実推進事業	学校教育室	市内全児童生徒にQ-U調査を実施し、居心地のよい学級集団づくりを進める。	継続 (現行)
10	特別支援教育体制整備事業	学校教育室	特別な支援が必要な児童生徒への有効な支援を充実させ、保育所・幼稚園から高校まで途切れない支援を行う。	継続 (現行)
11	小学校教育振興費 (学務管理室)	学務管理室	理科、算数に関する教育設備の整備等により、良好な教育環境を整備する。	継続 (拡大)
12	小学校教育振興費 (学校教育室)	学校教育室	市指定教育研究推進事業の実施や文化的な教育活動の支援等により、市内小学校の教育の振興を図る。	継続 (拡大)
13	中学校教育振興費 (学務管理室)	学務管理室	設備備品、通学手段等の教育環境を整備し、円滑な学校教育の実施を図る。	継続 (拡大)
14	中学校教育振興費 (学校教育室)	学校教育室	クラブ活動や進路指導の充実、研究指定等の実施により、教育の質の向上を図る。	継続 (現行)
15	中学生地域ふれあい事業	学校教育室	職場体験活動を実施し、生徒の望ましい職業観、生徒の個性の伸長を図る。	継続 (現行)
16	教育フォーラム事業	教育総務室	教育関係者、保護者、地域住民が一堂に会し、市民みんなで子どもを育てるしくみの構築を図る。	継続 (現行)
17	教育センター運営支援員配置事業（緊急雇用創出事業）	教育総務室	教育センターに支援員を配置し、施設の管理運営を円滑に行う。	H25 完了

No	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
18	校区再編推進事業	教育総務室	学校の規模・配置の適正化により、集団活動の中での学びを促し、健康な心と体を育てる学習環境を整える。	継続 (現行)
19	パーソナルカルテ推進事業	学校教育室	保護者が、学校と連携しながら、子どものデータを構築することにより、途切れのない支援を進める。	継続 (現行)
20	教育研究事業	教育センター	教育課題に迅速かつ適切に対応していくため、教育力の向上を目指す。	継続 (拡大)
21	道徳教育総合支援事業	学校教育室	道徳教育を充実させ、児童生徒の豊かな心の育成を図る。	H26 完了予定
22	小学校教育振興費 (扶助費分)	学務管理室	義務教育の円滑な運営のために、保護者の負担を軽減する。	継続 (現行)
23	中学校教育振興費 (扶助費分)	学務管理室	義務教育の円滑な運営のために、保護者の負担を軽減する。	継続 (現行)
24	奨学金支給事業 (補助金含む)	学務管理室	奨学金の支給又は貸付を行い、地域及び社会に役立つ人材を育成する。	継続 (改善)
25	遠距離通学費補助金 (小学校)	学務管理室	遠距離通学費の一部を補助し、保護者の経済的負担の軽減と対象児童の通学の安全を図る。	継続 (現行)
26	遠距離通学費補助金 (中学校)	学務管理室	遠距離通学費の一部を補助し、保護者の経済的負担の軽減と対象生徒の通学の安全を図る。	継続 (現行)
27	私立幼稚園子育て支援補助金	保育幼稚園室	子育て支援の強化を図る。	継続 (現行)
28	私立幼稚園就園奨励補助金(補助分)	保育幼稚園室	幼稚園への就園を奨励し、幼稚園教育の普及を図る。	継続 (改善)
29	私立幼稚園就園奨励補助金(単独分)	保育幼稚園室	幼稚園への就園を奨励し、幼稚園教育の普及を図る。	継続 (現行)
30	小学校耐震改修事業 (単独分)	学務管理室	計画的に耐震補強工事を実施し、避難所としての機能確保、地震発生時の児童の安全を守る。	継続 (拡大)
31	小学校耐震改修事業 (補助分)	学務管理室	計画的に耐震補強工事を実施し、避難所としての機能確保、地震発生時の児童の安全を守る。	継続 (拡大)
32	小学校管理費 (学務管理室)	学務管理室	学校施設の適切な維持管理を実施し、円滑な学校運営を図る。	継続 (現行)
33	中学校管理費 (学務管理室)	学務管理室	学校施設の適切な維持管理を実施し、円滑な学校運営を図る。	継続 (現行)
34	幼稚園管理費	保育幼稚園室	公立幼稚園の円滑な運営を図る。	継続 (現行)

No	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
35	教職員住宅管理費	学務管理室	遠隔地から赴任してきた教職員に住居を提供し、円滑な学校運営を図る。	継続 (改善)
36	教育センター管理費	教育センター	本市教育の中核施設として、子どもたちの豊かな学びの保障、様々な教育課題の解決を図る。	継続 (現行)
37	教育委員会一般経費	教育総務室	教育委員会の円滑かつ効果的な運営を行う。	継続 (改善)
38	事務局一般経費 (教育総務室)	教育総務室	教育委員会事務局の円滑かつ効果的な運営を行う。	継続 (現行)
39	事務局一般経費 (学務管理室)	学務管理室	教育委員会事務局の円滑かつ効果的な運営を行う。	継続 (現行)
40	事務局一般経費 (学校教育室)	学校教育室	教育委員会事務局の円滑かつ効果的な運営を行う。	継続 (現行)
41	教育振興一般経費 (学校教育室)	学校教育室	各学校の円滑な運営と児童生徒活動の推進により、教育水準の維持・向上を図る。	継続 (現行)
42	小学校運営費	学務管理室	小学校の円滑かつ効果的な運営を行う。	継続 (現行)
43	小学校管理費 (学校教育室)	学校教育室	夏季休業中のプール監視補助員の配置等により、子どもの安全な学校生活を保障し、学校運営を円滑に行う。	継続 (現行)
44	小学校給食費	学務管理室	給食施設・設備の適切な管理運営を行い、安全安心な学校給食を提供する。	継続 (現行)
45	中学校運営費	学務管理室	中学校の円滑かつ効果的な運営を行う。	継続 (現行)
46	中学校管理費 (学校教育室)	学校教育室	自立支援員の研修支援等により、学校の運営管理を円滑に行う。	継続 (現行)
47	幼稚園運営費	保育幼稚園室	公立幼稚園の円滑な運営を図る。	継続 (現行)
48	幼稚園運営費	学校教育室	指定研究により小幼保の連携を含めた幼児教育の研究を実施し、就学前教育の資質向上に寄与する。	継続 (現行)
49	小中学校コンピュータ管理費	学校教育室	パソコン教育の環境を整備し、情報教育リテラシーの向上を図る。	継続 (拡大)
50	看護専門学校 (病院事業会計)	看護専門学校 (教務庶務室)	地域社会に貢献できる看護師を育成する。	継続 (現行)

【教育委員会の評価】

- ・特別支援教育にかかる取組については、今後も保護者への説明を丁寧に進めることと、通常学級における特別支援の必要な児童生徒の個別の指導計画の作成率を高めることが必要です。途切れのない支援を推進するとともに、パーソナルカルテを活用し個々のニーズに応じたきめ細やかな支援を引き続き実施します。
- ・「小・中学校の教育環境に満足している市民の割合」、「学校に満足している児童生徒の割合」は、前年度比で微増となっており、教育環境を整備する予算措置が厳しい中でも、一定の目標を達成できたと考えています。
- ・不登校児童生徒の対応については、小学校1年生をはじめとする低学年における不登校児童の状況も新たな課題となり、分析に基づいた取組が必要です。
- ・子ども教育ビジョンに掲げた基本的な考え方（0歳から18歳までの連続性と、教育に係る社会全体の連携強化、必要とされる教育水準を保障する仕組みづくり）に沿って順調に取り組んでいます。
- ・小中学校施設の耐震補強工事を計画的に実施し、平成27年度完了を目指しています。
(平成26年3月現在耐震化率79.23%)

【行政評価委員会の総合評価及び意見】

評価：B 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている

意見：なし

【施策の点検】

- ・子ども教育ビジョンに基づき、学力・体力の向上、子どもの居場所づくりや途切れのない支援等、児童生徒の個々のニーズに応じたきめ細やかな取組をさらに進めます。
- ・小中学校施設の耐震化を平成27年度に完了するとともに、教育環境整備を計画的に進めます。
- ・教育センター機能の一層の充実を目指して、教職員をはじめ、家庭の教育力、地域の教育力向上のための研修の充実を図ります。

< 施策 2 >

政 策 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
 基本施策 生きる力をはぐくむ教育の充実
 施 策 青少年健全育成

【基本方針】

- ・家庭、地域、学校が連携して青少年の健全育成に取り組むことのできる環境づくりに努めます。
- ・青少年の自主的な活動や交流を支援するとともに、非行防止活動や相談体制を充実するなど、健全育成の環境づくりに取り組みます。



【施策指標（目標）及び達成状況】

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H20)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2015 (H27)	進捗率
初発型非行数（件）	目標	—	—	—	70	—	60	
	成果	77	22	20	22	28		100%
青少年ボランティア数（人）	目標	—	—	—	50	—	56	
	成果	47	57	57	60	61		100%
放課後子ども教室実施回数【延べ値】（回）	目標	—	—	—	488	—	1,100	
	成果	22	146	201	280	354		31%
青少年の健全な育成に向けた取組が行われていると感じる市民の割合（%）	目標	—	—	—	—	—	45.0	
	成果	—	—	39.1	42.6	46.8		100%

【施策達成のための教育委員会事務事業】

No	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
1	放課後子ども支援事業	文化生涯学習室	放課後子ども教室を開催し、子どもの居場所づくりと健全育成を図る。	継続 (拡大)
2	成人式行事経費	文化生涯学習室	式典開催により、新成人に大人としての自覚を促し、責任ある行動、社会参画の意識の醸成を図る。	継続 (現行)
3	青少年健全育成事業	文化生涯学習室	非行防止、環境浄化活動により安心安全な環境づくりに取り組み、青少年の健全育成を図る。	継続 (現行)
4	青少年健全育成事業補助金	文化生涯学習室	青少年育成市民会議の活動を支援し、青少年健全育成活動の推進を図る。	継続 (現行)

【教育委員会の評価】

- ・青少年健全育成事業は、青少年育成市民会議の活動が年々充実しており、今後も関係団体・関係機関との連携を維持しながら、事業を継続していくことが必要です。
- ・最小の経費で最大の効果、コストパフォーマンスの高い成果があげられているのは、市民、市民団体等のボランティアによるところが大きいです。
- ・放課後子ども教室事業については、さらに拡大するよう未実施地域への啓発を行います。

【行政評価委員会の総合評価及び意見】

評価：B 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている

意見：なし

【施策の点検】

- ・量や数にとらわれることなく、質を重視した取組内容を検討しながら、今後とも地域、市民団体等と協働して事業実施します。
- ・地域で子どもを育てる事業として、放課後子ども教室事業は、平成26年度より6教室8小学校区において開催することになりました。

< 施策 3 >

政 策 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
 基本施策 豊かな心をはぐくむ生涯学習の推進
 施 策 生涯学習

【基本方針】

- ・生涯学習のまちづくりを進めます。
- ・積極的な情報提供を行うとともに、多様化するニーズに対応して快適に学び続けることのできる学習機会や環境の充実に取り組みます。
- ・生涯学習を通して身につけた知識や情報、経験を地域や社会で生かすことができるよう、学校、ボランティア組織や福祉施設等との連携を強化します。
- ・高等教育機関との連携を強化し、施策や地域課題についての共同研究を通して地域との交流連携を促進します。



【施策指標（目標）及び達成状況】

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値	2010	2011	2012	2013	2015	進捗率
		(H20)	(H22)	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)	
目的を持って生涯学習に取り組んでいる市民の割合（％）	目標	—	—	—	46.0	—	49.0	
	成果	42.3	43.0	41.0	41.7	42.8		7%
公民館のサービスに満足している利用者の割合（％）	目標	—	—	—	72.0	—	77.0	
	成果	66.9	91.9	86.5	88.6	94.8		100%
市民1人あたりの年間公民館利用回数（回）	目標	—	—	—	3.6	—	3.8	
	成果	3.1	3.5	3.4	3.4	3.4		43%
市民1人あたりの年間図書貸出冊数（冊）	目標	—	—	—	6.4	—	6.8	
	成果	6.1	6.9	7.1	6.9	6.6		71%
年度内に図書の貸出を利用した市民の割合（％）	目標	—	—	—	16.5	—	17.0	
	成果	15.6	15.8	15.7	15.3	14.8		0%
公民館における家庭教育講座の講座数 【延べ値】（講座）	目標	—	—	—	56	—	96	
	成果	10	33	43	68	68		67%
高等教育機関と共同実施した事業数 【延べ値】（件）	目標	—	—	—	6	—	15	
	成果	0	2	3	6	8		53%

【施策達成のための教育委員会事務事業】

No	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
1	学校支援地域本部事業	文化生涯学習室	事業の実施により、学校・家庭・地域が一体となり教育活動を推進し、学校を支援するしくみの構築を図る。	継続 (拡大)
2	生涯学習推進事業	文化生涯学習室	人材の育成や家庭教育等、重要課題の学習機会を提供し、公民館活動や地域組織活動の充実を図る。	継続 (現行)
3	なばり本の帯コンクール事業	図書館	本の帯作りを通して、小中学生の読書活動の推進を図る。	継続 (現行)
4	図書館運営費	図書館	資料（書籍）を収集・整理し、市民の利用に供し、市民の学習機会保障と文化の発展を図る。	継続 (拡大)
5	図書館活性化推進事業	図書館	教職員の指導スキル習得及び図書館活用力の向上を図る。	H25 完了
6	公民館バリアフリー整備事業	地域経営室	利用者の利便向上を図る。	H25 完了
7	公民館耐震改修事業	地域経営室	避難所として、生涯学習施設として、安心して利用いただける施設整備。	H26 完了予定
8	公民館駐車場整備事業	文化生涯学習室	公民館活動及び地域づくり活動を推進する。	H25 完了
9	市民センター駐車場整備事業	文化生涯学習室	利用者の利便向上を図る。	H25 完了
10	公民館管理費	文化生涯学習室 地域経営室	地域住民のニーズに応じた生涯学習の展開を図る。	継続 (改善)
11	図書館管理費	図書館	施設及び設備を適切に維持管理し、利用者の利便向上を図る。	継続 (現行)
12	社会教育総務一般経費	文化生涯学習室	社会教育委員の審議機能を強化し、公民館並びに社会教育団体への支援を行うことで、生涯学習の振興を図る。	継続 (現行)

【教育委員会の評価】

- ・「なばり人養成塾」を皇學館大学ふるさと講座や各地区公民館講座と共催で実施したことにより、高等教育機関との連携、公民館の活性化、市民の学習ニーズに応えられるなどの効果がありました。

今後は、講座修了生が各地域で活躍できるシステムづくりを検討します。

【行政評価委員会の総合評価及び意見】

評価：B 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている

意見：なし

【施策の点検】

- 学習機会や環境のさらなる充実に向け、各地区公民館講座との共催方式や高等教育機関との連携を強化し、引き続き 60 歳未満世代の参加を促進します。
- 各種講座の受講者のより自主的な活動への発展をサポートし、地域で活躍できる人材づくりを進めていきます。
- 生涯学習の成果をまちづくりやボランティア活動に生かすことができるよう、幅広い分野での社会貢献に取り組みます。

< 施策 4 >

政 策 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
 基本施策 豊かな心をはぐくむ生涯学習の推進
 施 策 生涯スポーツ

【基本方針】

- ・スポーツ関係団体や地域との連携を図り、生涯スポーツ社会の実現に向けて取り組めます。
- ・ニュースポーツの普及やイベントの開催、スポーツ・レクリエーション施設の整備、民間施設の活用等も含めた整備計画を策定し取り組めます。



【施策指標（目標）及び達成状況】

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H20)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2015 (H27)	進捗率
週に1回以上スポーツに親しんでいる市民の割合 (%)	目標	—	—	—	40.0	—	43.0	43%
	成果	36.5	39.7	40.6	38.0	39.3		
スポーツリーダーバンク利用回数 【延べ値】(回)	目標	—	—	—	125	—	260	12%
	成果	15	15	15	39	45		
市民1人あたりの年間体育施設利用回数 (回)	目標	—	—	—	5.5	—	6.0	0%
	成果	5.0	4.8	5.1	4.8	4.1		

【施策達成のための教育委員会事務事業】

No	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
1	スポーツ活動振興費	市民スポーツ室	スポーツ活動振興事業の実施により市民の体力向上、健康の保持・増進を図る。	継続 (改善)
2	総合体育館等耐震改修事業	市民スポーツ室	名張市総合体育館の耐震補強整備を行い、利用者の安心安全を確保する。	H25 完了
3	総合体育館改修事業	市民スポーツ室	利用者の安全で快適な利用向上を図る。	H25 完了
4	武道交流館いきいき管理費	市民スポーツ室	指定管理者による管理・運営及び維持修繕の実施により、利用者の便利向上を図る。	継続 (現行)

No	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
5	体育施設管理費	市民スポーツ室	指定管理者による管理・運営及び維持修繕の実施により、利用者の利便向上を図る。	継続 (現行)
6	保健体育総務一般経費	市民スポーツ室	スポーツ推進委員の活動支援及び研修会の実施等により、スポーツ活動の充実を図る。	継続 (改善)

【教育委員会の評価】

- ・各行事に対する参加者数は、例年並みの成果が得られ、参加者のニーズに応えられました。
- ・各施設の利用状況については、総合体育館が耐震工事のために減少していますが、武道交流館いきいき及び学校開放事業については増加しており一定の成果を得られました。
- ・総合体育館耐震改修工事については、無事に竣工することができました。このことにより、利用者の安全が確保され、安心してご利用いただける施設となり、利用者の一層の利便向上につながりました。

【行政評価委員会の総合評価及び意見】

評価：C 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われているものの、いくつかの課題、改善の余地が見受けられる。

意見：生涯スポーツ社会の実現に向け、総合型スポーツクラブの再構築に向けた取組を進めていく必要がある。

【施策の点検】

- ・スポーツ活動は、市民の健康増進に寄与することは言うまでもなく、近年、市民の健康意識が向上していることから、スポーツ活動を切れ間なく提供していくことが重要であり、「いつでも・だれでも・いつまでも」を理念に据え事業を展開していきます。
- ・活動の基盤となる各種団体の育成、指導や強化を引き続き実施していきます。また、スポーツ活動の契機づくり、技術力向上のために、市民にハイレベルな試合などに触れていただく機会を設けるために、トップアスリートの招聘に取り組みます。
- ・生涯スポーツの振興、普及の拠点となる、地域総合型スポーツクラブの再構築に取り組みます。
- ・市民陸上競技場をはじめ、市内の体育施設の多くは建築後30年が経過し、老朽化が顕著となっています。スポーツ活動を推進するうえでも、利用者が安全に安心してご利用いただけるよう計画的に整備を進めます。

< 施策 5 >

政 策 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
 基本施策 市民文化の創造
 施 策 市民文化

【基本方針】

- ・「名張らしさ」が息づく魅力ある市民文化を育み、心豊かな交流が広がる質の高い暮らしを創造します。
- ・「能楽のふるさとづくり」を目指し、伝統文化の伝承・発展や自主的な文化活動への積極的な支援と、人材の発掘・育成に努めます。
- ・名張の文化を積極的に発信するとともに、全国の多様な地域との豊かな文化交流に努めます。



【施策指標（目標）及び達成状況】

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H20)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2015 (H27)	進捗率
1年間に1回以上、文化・芸術を鑑賞したことのある市民の割合（％）	目標	—	—	—	53.0	—	54.0	59%
	成果	49.6	51.5	49.4	50.1	52.2		
美術展覧会出展数【延べ値】（点）	目標	—	—	—	1,172	—	1,892	69%
	成果	230	633	841	1,020	1,384		
青少年センター、名張藤堂家邸跡、夏見廃寺展示館の入場利用者数【延べ値】（人）	目標	—	—	—	222,000	—	360,000	64%
	成果	44,288	122,608	163,144	210,349	247,228		

【施策達成のための教育委員会事務事業】

No	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
1	ふるさと能文化振興事業	文化生涯学習室	名張能楽祭の実施や子ども狂言の会の支援を通じて、伝統文化の伝承・発展を図る。	継続 (改善)
2	青少年センター運営費	文化生涯学習室	市民の芸術文化活動を促進する。	継続 (改善)
3	青少年センター空調設備改修事業	文化生涯学習室	市民の芸術文化活動の拠点施設の改修。	H25 完了
4	文化施設管理費	文化生涯学習室	文化施設の適切な維持管理を行い、入館者の利便向上を図る。	継続 (改善)
5	青少年センター管理費	文化生涯学習室	青少年センターの適切な維持管理と、文化芸術の鑑賞機会の提供により市民文化の向上を図る。	継続 (改善)

No	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
6	文化振興費	文化生涯学習室	市民文化祭及び市美術展覧会を開催し、創作活動の発表及び鑑賞の機会を提供し、市民の芸術文化への関心を高める。	継続 (改善)

【教育委員会の評価】

- ・事業を推進するなかで、地域や市民団体と協働して取り組んだことにより、名張の歴史や文化をより身近に市民に感じていただくことができました。
- ・生涯学習と各地域の公民館活動を結んだ「なばり人養成講座」の開設などを通じて、地域文化を担う人材育成を図りました。

【行政評価委員会の総合評価及び意見】

評価：B 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている

意見：なし

【施策の点検】

- ・アドバンスコープADSホール（青少年センター）については、平成28年度以降の指定管理者制度の導入に向けて、引き続き検討を進めます。
- ・観阿弥祭や名張能楽祭の開催、次世代を担う子どもたちが伝統芸能に接する機会づくりに引き続き取り組みます。

< 施策 6 >

政 策 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
 基本施策 市民文化の創造
 施 策 文化資源

【基本方針】

- ・文化遺産や地域資源を市民共有の財産として大切に保護し、次世代に継承します。
- ・地域で育まれた文化遺産等の地域資源を保存、活用し、文化の薫る魅力的で活力あるまちづくりに取り組みます。
- ・文化財に対する理解を深めるため、イベントの開催などを通じて文化財や文化的資源にかかる情報提供を進め、各種団体の活動を支援します。
- ・貴重な歴史、文化等を後世に継承するため名張市史の編さんを進めます。



【施策指標（目標）及び達成状況】

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値	2010	2011	2012	2013	2015	進捗率
		(H20)	(H22)	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)	
名張の歴史を知っている市民の割合（歴史テスト認知率）（%）	目標	—	—	—	42.0	—	43.0	0%
	成果	38.4	33.6	32.9	32.0	30.8		
夏見廃寺展示館や名張藤堂家邸跡を活用した市民団体主催行事への参加者数【延べ値】（人）	目標	—	—	—	3,700	—	6,700	20%
	成果	497	907	1,157	1,516	1,756		
歴史講座等を通じて、文化財保護の重要性を理解できたと感じた参加者の割合（%）	目標	—	—	—	72.0	—	73.0	0%
	成果	71.0	70.0	71.0	71.0	71.0		

【施策達成のための教育委員会事務事業】

No	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
1	市史編さん事業	総務室	市民の郷土に対する愛着を育み、新たな文化創造のまちづくりを目指す。	継続 (拡大)
2	オオサンショウウオ緊急調査事業	文化生涯学習室	指定文化財の適切な保護を実施する。	継続 (現行)
3	赤目の峡谷復旧事業	文化生涯学習室	平成25年1月の大雪による赤目渓谷内の災害を復旧し、良好な景観を提供する。	H25 完了
4	文化財保護費	文化生涯学習室	指定文化財の保護及び史跡の維持管理を行い、後世に伝えるとともに、地域のシンボルとして活用を図る。	継続 (改善)

【教育委員会の評価】

- ・ 史跡整備などの大規模な事業は、財源確保が困難な状況であることから、地域づくり組織や各種団体と連携して文化施設の活用に取り組みました。
- ・ 国の登録文化財は、市民団体の協力を得て、旧市街地の初瀬街道沿いを中心として登録数を増やしています。

【行政評価委員会の総合評価及び意見】

評価：C 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われているものの、いくつかの課題、改善の余地が見受けられる

意見：本市は、文化的な資産や観光開発につながる資産を潜在的に有していることから、地域づくり組織等との連携による複合的な事業展開や観光関係団体等との連携による具体的な取組が必要である。

【施策の点検】

- ・ 地域や市民活動団体等と連携して、歴史ウォーキングやまち歩き等を開催するとともに地域の文化財の魅力の再発見と活用に取り組みます。
- ・ 文化財の普及・啓発活動の拠点施設として、旧錦生小学校の校舎を活用し「名張市郷土資料館」を本年4月に開設します。
また、郷土資料館を拠点として、文化遺産を活用して名張の歴史文化を内外に発信していくとともに、様々な事業展開を通して、新たな名張の魅力づくりに取り組みます。
- ・ 文化財保護は、専門的な知識を要する人材が必要であることから、事業推進とあわせて人材育成に取り組みます。

< 施策7 >

政 策 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
 基本施策 市民文化の創造
 施 策 文化交流

【基本方針】

- ・名張の文化を積極的に発信し、全国の多様な地域との豊かな文化交流を進めます。
- ・外国人旅行者や在住者が、住みやすく、活動しやすい情報提供を進め、市民公益活動団体等とのネットワークを充実します。
- ・名張固有の文化等の情報発信を通し、世界の多様な地域や人々との交流を広げるなど世界に開かれたまちづくりを進めます。



【施策指標（目標）及び達成状況】

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値	2010	2011	2012	2013	2015	進捗率
		(H20)	(H22)	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)	
名張の文化を広く市外に発信したいと考える市民の割合（％）	目標	—	—	—	58.0	—	60.0	
	成果	55.5	52.9	60.5	60.7	61.3		100%
指差し会話集の数【延べ値】（件）	目標	—	—	—	17	—	20	
	成果	13	13	13	13	13		0%

【施策達成のための教育委員会事務事業】

No	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
1	小学校ALT派遣事業	学校教育室	小学校専属外国語指導助手を派遣し、コミュニケーション能力の育成及び国際理解教育の充実を図る。	継続 (拡大)
2	中学校ALT派遣事業	学校教育室	中学校外国語指導助手を派遣及び小中連携により、聞く・話す力の育成、コミュニケーション能力の育成を図る。	継続 (現行)
3	日中スポーツ友好交流事業	市民スポーツ室	中国・蘇州市とスポーツ友好交流を通じて、国際的視野を広めさせるとともに相互理解と友好交流を深める。	継続 (現行)

【教育委員会の評価】

- ・子ども伝統芸能発表会は、第5回目を数え定着してきており、「狂言」をとおして関係地域と文化交流を実施し、あわせて名張の情報発信ができました。
- ・韓国京畿道水原市で開催された、「アジア太平洋青少年環境フォーラム」に中学生を派遣し、文化交流による国際理解を深めました。

【行政評価委員会の総合評価及び意見】

評価：C 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われているものの、いくつかの課題、改善の余地が見受けられる

意見：観阿弥創座の地、江戸川乱歩生誕地としての名張の文化の全国発信に積極的に取り組むとともに、関わりのある地域と歴史・文化を通じた交流を図る必要がある。

【施策の点検】

- ・ 市民活動団体等と連携して、観阿弥祭や名張能楽祭、子ども伝統芸能祭などを積極的に情報発信することにより、名張の文化の全国発信に繋げていきます。
また、東大寺や唐招提寺との歴史的な行事や、江戸川乱歩を通じて関係地域との文化交流をより深化させ、交流の拡大を図ります。
- ・ 市民活動団体との連携強化、A L T（外国語指導助手）を活用し、国際理解教育を推進します。